

学校に戻ったグループから、6年生が作ったメダルを1年生に送り、歓迎の気持ちを伝える。グループごとに撮った写真は、寄せ書きをして卒業生を送る会でプレゼントする。

②グループ遊び・ゲーム大会・ドッジボール大会・なわとび大会

グループ遊びは、グループごとに運動場と体育館・教室に分かれて、それぞれ相談した遊びをする。6年生の紙芝居、カルタやすごろく等で遊ぶ新春おたのしみ会、体育委員会が中心となり、グループ対抗で楽しむドッジボール大会や長なわとび大会。ゲーム大会は、運営集会委員会が中心となり、ペットボトルボウリングや輪投げ・缶積み・豆運び・魚釣り等のゲームをグループごとに回りながら得点を競う。

③卒業生を送る会

ひまわりグループごとに寄せ書きをし、5年生が作ったメダルと共に、1年間お世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える。各学年で相談した意見をもとに代表委員会で相談し、今年度は、各学年と卒業生が体育館でミニスポーツ（しっぽとり 縄跳びリレー 借物競走 ポートボール ドッジボール）を楽しんだ。

イ. 全校写生大会（9月）

全校児童が今井町内に朝から出かけ、それぞれの学年のめあてに沿って今井校区の町並みを描く。1年生は順明寺、2年生は春日神社、3年生からは今井校区の好きな場所。今年度からは、小綱町の大日堂・入鹿神社や四条町や小泉堂の神社なども加えて開催した。この写生大会は、今井町や保護者・学校ボランティアさんの協力のもと、40年以上も続いている伝統ある行事である。楽しく伸び伸びと描くことによって、表現力を高める。郷土の自然や文化財に親しむとともに、その美しさを感じ取り、大切に作る態度を育てる。よく観察し、最後まで根気強く描き上げる態度を育てる。描いた6枚の絵は、卒業前に思い出ブックとしてまとめる。

② ふるさと「今井」に係わる学習

1年…学校のまわりのたんけん

祖父母や第2こども園児との交流

2年…町たんけん

デイサービスのお年寄りとの交流

3年…校区たんけん（今井町・四条町・小綱町・兵部町）

伝統的な建造物や文化等を調べ、今井町のことを学ぶ

蘇武橋のエノキの話

むかしをさがそう

4年…今井町を知る

今井町を守ってくれる人々（消防団）

ボランティアの方々との交流

吉野川分水 源流の村、川上小学校との現地交流

牛の学習から、和太鼓演奏へ

5年・・・今井町の重要文化財を調べよう
 水のつながりプロジェクト
 (吉野川分水と源流の川上村の事を知り、そして奈良盆地の稲作を考える)
 ー川上小学校と一緒に田植え・稲刈り、スカイプ交流
 今井町を発信しよう
 第2こども園との交流
 伝統を受け継ぐ(校区のお祭りについて調べよう)

6年・・・今井町の歴史、住民と行政(保存に向けて)
 茶粥体験
 蘇武橋のエノキの話
 「討論会ー今井の未来はどんな町」

○全校・・・ひまわりグループ活動
 (はじめましてハイキングーごみを拾いながら)
 写生大会 絵本を読もう!聞いてね!



① はじめましてハイキング



① 鶴折りでつながろうー6年生に託す



② 写生大会



② 茶粥体験

(2) 活動の詳細

① 活動内容

5年・・・今井町の重要文化財を調べよう
 水のつながりプロジェクト
 (吉野川分水と源流の川上村の事を知り、そして奈良盆地の稲作を考える)

—川上小学校と一緒に田植え・稲刈り、スカイプ交流
今井町を発信しよう

6年・・・今井町の歴史、住民と行政（保存に向けて）

茶粥体験

蘇武橋のエノキの話

「討論会—今井の未来はどんな町」



6年 未来の今井を考える in 花薨



5年田植え

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input checked="" type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

主に生活科や総合的な学習の時間に位置付け、4月当初学年で見直し、全校の動きを把握できるように、3月活動報告のまとめなどを作り共有している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

地域の団体（町並み保存会 消防団 自治会 小学校ボランティアの会など）の出前授業などが充実しているので、継続していけるように年間カリキュラムに位置付けて、誰が担当してもわかりやすいようにファイリング・反省点を継承している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

通常の学校評価に、とりわけユネスコスクールの観点は入れていないが、「学校が楽しい」・「授業が分かりやすい・おもしろい」という項目でも評価されていることが分かる。また、保存会のみなさんから、年々児童の発言や発表が引き継がれていくように感じると、お褒めの言葉をいただいたりしている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

奈良の報告に1/27の報告に出させてもらった。職員にはまだESDのことばもきちんとはおろせていないが、年間まとめの冊子には校長として目指すものの中心にESDの視点から投稿して、啓発と方向性を示している。職員全体としての結束や考え方は数歩進んだといえる。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

川上村との「水のつながりプロジェクト」は、来年度も継続する。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ありません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき(特に強調したい)内容(例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化)(200字程度) ※チェック事項 2-5 に対応

ふるさとの事を自分のことばで語れる子が育っているのはまちがいない。教員も自校の特色や良さを学び、児童や地域に対する自校愛が大変育っている。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

基本的には平成29年度の学習を継続したいが、外国語の移行措置が始まるなど、「今井学習」をより、合科的・横断的に進めていかなければならないので、若い経験の少ない先生の多い学校ならではの苦しさもあり同様のカリキュラムを進めるのは簡単ではない。

「何のための学習か」を問い続け、人間力の向上に努めたい。